

長谷川社長ハ全數信用ヲナクシテ居ルノデアル解散ノ意
夫ガナケレハ萬一ノ場合ノ保証デアルナラ中島ニ保証シ
テ賞ヒタイ

佐藤高一ヨリ

絶対ニ解散ノ意ハナイノデアルカラ良イテハナイカ
中島ハ資本家根生テ保証シナイガ盡カスルト言ウテ居ルカ
ラ信ジテ賞ヒタイ萬一解散ノ場合ハ一萬圓トカケテ事
ヲ言ハス其ノ時ハ長谷川社長ヲ洗頭ニモツト多ク出サス
積リタ其ノ時ハ山本君ニモカク借リタイト思フテ居ル故
會社案ヲ解決シテ賞ヒタイト後通シタルニ山本富嘉ヨリ
明十五日午前十時回答シタイト述べ散會ス

の解八次會見(解決)

三月十五日午前十時ヨリ萬朝報社ニ階社長室ニ於テ勞資會
見シタルガ會社解散ノ場合ノ退職手當金一萬圓保証問題及

金一封ノ額ノ問題(爭議中ノ日給及費用)ニ關シ双方ニ相
當ノ開キアリ容易ニ互譲妥協スルニ至ラザリシガ所轄京橋
署員及當廳勞働課員 両者間ク極力斡旋シタル結果漸ク午
後九時四十分ニ至リ左記覺書ノ如ク圓滿解決セリ

記

の會見者 會社側 社長 長谷川善治

日大新聞記者 高山福良

從業員側組合本部員

山本富嘉

外從業員 五名

傍聽者、大化會員 山本美男以下三名

四 解決条件

覺書

萬朝報社工場手帳、本日所轄京橋京橋警察署、幹吏調停